



第45回 卒業証書授与式

例年よりも比較的暖かかったとはいえ、永い五木の冬もようやく終わり、春の気配を感じ始めた3月1日、第45回卒業証書授与式が挙行されました。今年度は、男子4名女子1名、合計5名の卒業生が五木分校を巣立っていきました。当日は多くの方々にご臨席を賜り、まことにありがとうございました。

卒業式を通して、五木分校での3年間の思い出や、先輩・後輩がお互いを思い合う言葉、保護者への感謝の言葉などが語られました。「一人一人が輝く分校生」というスローガンを見事に体現した素晴らしい卒業式であったと思います。また、式後は茶話会を開き、在校生、職員で卒業生と過ごす最後の楽しいひとときとなりました。卒業生の今後の活躍を期待します。



熊本県立人吉高等学校

五木分校ニュース

第211号
平成31年3月
編集発行
熊本県立人吉高等学校
五木分校

転退任される先生方

山本 誠二 教頭先生



「さみしくてたまらない・・・」
五木分校での3年間はこれまでの人生で最も思い出深く充実した時間となりました。地域の方に支えられ、地域とともに歩み、地域とともに成長していく事が、分校のあるべき姿だと考えています。この3年間、地域の方と連携した様々な活動をとおして生徒も学校も成長することができました。その中でも保育所・小学校・中学校、そして村との連携で大いに盛り上がった合同大運動会や幽谷源平太鼓と食バザーに協力していただいた五文祭（文化祭）は一生忘れることができません。50年前に五木村に住んでいた私にとって五木村は第二の故郷です。そしてありがたいご縁があり、この3年間、五木村民として五木村で生活することができました。50年前と変わらぬまぶしいまでの四季の移り変わり、感動するほどの人の暖かさ、どこまでも澄んだ空気と冷たい天然水、こんなに素敵な場所は日本中どこを探してもないでしょう。温泉での地元の方との裸と裸の情報交換は、地域とともに歩む分校教育にヒントを得ることができました。五木分校での3年間の教育活動に生かしていきます。五木分校の生徒の皆さん、五木の子ども達、そして五木村の皆さん本当にありがとうございました。さみしくてたまりません。

永田 稔 主任事務長



この度の人事異動で八代東高等学校へ転勤することとなりました。在勤2年間ではございましたが、五木村の雄大な自然と生徒の皆さんの元気で純粋な笑顔に、毎回、感動をいただいております。今後の生徒の皆さんのますますの御活躍を祈念いたします。また、保護者の皆様も五木秀麗会の活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。お世話になりました。

北崎 仁 先生 (数学)



この度、3月31日を持ちまして37年間の教職員生活を終えることになりました。五木分校には6年間お世話になりました。分校での6年間は担任として二度卒業生を送り出し、修学旅行にも二度行くなど、濃い教員生活を過ごさせていただきました。また、合同運動会など、分校ならではの行事があり新鮮な経験もしました。6年間で出会った先生・生徒・保護者・地域の方々に感謝しながら退職の挨拶いたします。ありがとうございました。

樽口 秀典 先生 (生物)



五木分校には教員生活の最後、6年間お世話になりました。五木分校で印象的だったことは、中学校までほとんど教室に入れなかった生徒がほぼ無欠席で卒業し、社会人として就職していくなど、高校の3年間で3年分以上の成長を遂げて巣立っていく生徒が多数いたことです。おそらく保護者の方も驚かれたのではないのでしょうか。このような五木分校の一員として、生徒の成長に微力ながら関わったことを誇りに思っています。最後に、五木分校の今後の益々の発展を祈念して、お別れの言葉とします。五木分校、ありがとうございました。

高橋 遼 先生 (事務)



この度の定期異動により荒尾第四中学校へ転出することになりました。三年前、人生で初めての五木村を訪れた時の感動がつい最近のことのように感じられます。この3年間で、生徒と長距離走大会や駅伝を走ったり、一緒にマジックショーをしたり、時にはサンシャイン高橋になったり、人吉球磨の温泉を制覇したりと、印象深い思い出がたくさんできました。この思い出を胸に新しい勤務地でも頑張りたいと思います。保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。素敵な3年間をありがとうございました。

消費者教育講座

2月28日(木)、人吉市消費生活センターから消費生活相談員の大原伸司氏を招いて、消費者教育講座を行いました。

主役は今春卒業する3年生ですが、1・2年生も一緒に講話を聞きました。契約の成立とクーリングオフ、昨今の消費トラブルの実例など、パワーポイントを使ったプレゼンテーションで具体例を挙げて解りやすいものでした。特に人吉球磨地区で昨今日立ったのがスマートフォンによるネットオークション詐欺だということでした。スマートフォン関係は、消費トラブルだけではなく、犯罪の被害者になるケースも多発しているとのことでした。多くの高校生がスマートフォンを利用している現状から考えると、防犯教室でもスマートフォンがらみ犯罪が強調されていることから、いい教訓になったと思います。消費トラブルに巻き込まれないことが一番ですが、いざというときの対処法を学び、身近な相談先を知ることができたことは、これから社会人として自立していく卒業生に役立つものだったと思います。

